

ウィズネイルと僕 (1988)

WITHNAIL AND I

メディア 映画
ジャンル ドラマ 青春
製作国 イギリス
時間 107分
初公開日 1991/05/04
公開情報 バウスシアター
リバイバル 2014/05 [日販]

【解説】

“僕”とウィズネイルは売れない役者同士。おんぼろフラットを共有する貧乏暮らしの中で、共に酒を飲み語りあい、ドラッグもたしなむという典型的な60年代後半流の青春を送っていた。ある初冬の週末、彼らはロンドンを逃れ、ウィズネイルの叔父を頼って、地方へと息抜きの旅に出た。こぢんまりとした、しかし立派な屋敷で、郷土として毅然と、趣味よく生活している叔父に接し、“僕”は憧れの気持ちを持つが、ゲイである叔父は閉鎖的な田舎暮らしにつきまとう中傷や孤独に耐えかね、アルコールに浸りがちだった。そして、泥酔する彼に迫られかけた時、“僕”は田舎で生きることの都会と変わらぬ困難と畏れを知る……。なにやら以前の村上春樹の小説を思わす、この奇妙に魅力的な脚本を書き、演出家としてのデビューを飾ったのは元役者で「キリング・フィールド」の脚色者であるB・ロビンソン。じめじめしたイギリスの気候が肌を感じられるくらい、リアルな感触の青春コメディで、悩める叔父を演じたR・グリフィスはユーモラスで哀しく、そして素敵だった。

【クレジット】

監督	ブルース・ロビンソン	Bruce Robinson
脚本	ブルース・ロビンソン	Bruce Robinson
撮影	ピーター・ハナン	Peter Hannan
音楽	デヴィッド・ダンダス	David Dundas
出演	ポール・マッギャン	Paul McGann
	リチャード・E・グラント	Richard E. Grant
	リチャード・グリフィス	Richard Griffiths
	ラルフ・ブラウン	Ralph Brown
	マイケル・エルフィック	Michael Elphick